

# Japanese onomatopoeia

私はカリアンネと申します。オスロ大学の3年生です。今日は日本語のオノマトペについてお話ししたいと思います。私はもう約2年半ぐらい日本語を勉強していますが、今でも日本語はとても難しいと思います。その原因の一つがオノマトペです。オノマトペとはサラサラとかキリキリとかいう表現です。

みなさんもお存じだと思いますが、日本語にはオノマトペがたくさんあります。日本語には他のどの言語よりもオノマトペの単語が多くあるようです。日本人はオノマトペを頻繁に使って、それを使って微妙なニュアンスを表現するのです。私は好きなアニメを何回か見た後、日本語でより深い会話をするためには、さまざまなオノマトペの使い方を学ぶ必要があることに気づきました

大半のオノマトペは昔から日本にある言葉なので、漢字で書かずに、カタカナやひらがなで書きます。そしてオノマトペには主に2種類あります。擬音語と擬態語です。擬音語は英語のオノマトペと同じように、実際の音を言葉で表現するときに使用されます。例えば、天気が悪く、大きな雷が鳴っていたら、『雷がごろごろなっている』と言えます。反対に、擬態語は音ではなく、状態や活動を表現します。たとえば「川がサラサラ流れている」というふうに使います。オノマトペは使用範囲が広いので、たくさん使えると便利です。例えば、この発表の前に私はとても緊張しました。みんなにこの気持ちを伝えるために『胸がドキドキしました』と説明できます。

また、私はまだオノマトペを上手につかえませんが、これからは食べ物に関してオノマトペをたくさん使おうと思っています。例えば以前は『とても美味しそう!』とか『めちゃ美味しかったね!』と言っていましたが、今度からは、『ふわふわなケーキ。おいしそう!』。とか、「とろとろのオムレツ!食べたい」というふうに表現するつもりです。そうすれば日本人は「どんどん」私にごちそうしてくれて、私のお腹は「パンパン」になり、私の心は「ルンルン」になるでしょう。

清聴ありがとうございました。